

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



放射線科紹介 | 画像診断で臨床医をサポートする放射線科医

横浜新緑総合病院 放射線科の中地です。放射線科医とはどんな仕事なのか、病院内で何をしているのか、具体的にイメージするのは難しいかもしれません。今回は放射線科医とは何なのか、また、病院内での役割を紹介させていただきます。

放射線医学は主に放射線診断学と放射線治療学に大別され、加えて近年は放射線診断学を応用して治療を行うインターベンショナルラジオロジーが発展してきました。私は大学卒業後11年間、これらについて大学病院で研鑽を積んでまいりました。

当院着任後は画像診断専門医として、主に当院で行われるCT・MRI検査について、検査ごとに適切な撮像範囲および撮影法の指示（いわゆる検査の質の管理）とその読影業務を行っております。

当院でのCT・MRI検査については、翌診療日までにはほぼ全件読影しています。また、依頼医からのコンサルト対応や、患者様の経過報告や診療方針の確認・決定を行うカンファレンスにも参加し、各診療科の医師との連携を深めています。

日本はCT・MRI装置の普及率は群を抜いて世界一であり、非常に身近な、そして最も重要な診断ツールの1つとなっています。行われた検査からより多くの情報を収集し、得られた情報の中で必要なものをピックアップして依頼医に迅速かつ正確に伝えることが放射線科医にとって最も重要な役割であると考え、これを信条として業務に当たっています。また、大学病院と異なる点として、専門領域だけでなく全身のありとあらゆる部位の解剖や疾患について幅広い知識が必要となります。また、1人の医師がある患者様に行われた全ての画像検査を読影することで、その患者様の全身状態や問題となる病態をより深く追求することができます。これが市中病院での放射線科の難しい所であり、醍醐味であると言えます。



CT室

当院は現在CT、MRI共に1台ずつ稼働しており、2014年度の検査数はCT 10478件/年、MRI 6146件/年でした。着任時の2012年からやや減少していますが、今年度はMRI検査数が月間で過去最多の637件/月を2度記録するなど、昨年に比べてかなり増加しています。

昨年12月には最新の64列CTを導入いたしました。従来のCTに比べて広い範囲をより高速に、低被曝量でスキャンすることが可能となりました。また、最新の画像処理技術により、新たに大腸CTや心臓CTも施行可能となりました。地域医療連携室を通して地域の医療機関との検査装置の共同利用、情報の共有も図っています。

放射線科の業務、役割について認識を深めていただければ幸いです。今後もより一層地域医療に貢献できますよう励んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

放射線科 医長 中地 俊介（なかじ しゅんすけ） 日本医学放射線学会 放射線科専門医・放射線診断専門医

「画論 The Best Image 2015」で優秀賞を2年連続受賞しました！

東芝メディカルシステムズ主催の医療画像用コンテスト「画論 The Best Image 2015」にて、1.5テスラMR部門の腹部領域で優秀賞を受賞しました。

受賞に際し、昨年12月13日東京国際フォーラムにて、大塚 亮消化器外科副部長と診療放射線技師による『濃縮胆汁における胆管結石』のプレゼンテーションを行いました。

当院の放射線科の強みは、医師とメディカルスタッフとの距離が近いことで、必要に応じて医師が直接、検査室に足を運んで指導していただけます。また、中地放射線科 医長（放射線科専門医）の指導の下で検査を行っていることもあり、2年連続で優秀賞を受賞することができました。今後も、この賞の名に恥じぬよう検査の質を高め、更に精進してまいりたいと思います。 診療放射線技師 金森 正典（MR専門技術者）



優秀賞



部門紹介 2016 外来 「新緑があれば安心だ」と思っただけのように

外来は、一般外来、専門外来の他、救急外来、検査部門から構成されており、1日平均480名の患者様が来院されます。外来看護師は、通院される患者様の療養を支援しており、当院では専門的な知識をもった看護師による看護外来を開設しています。

看護外来は、人工肛門等をお持ちの方を対象とした「**ストーマ外来**」、糖尿病患者様を対象とした「**糖尿病看護外来**」があります。是非、ご活用下さい。

救急外来は24時間体制であり、突然の急病やケガを体験された患者様に寄り添いながら、スピーディーに医療を受けて頂けるように努めています。

検査部門では「血管内治療センター」での心臓カテーテル検査、脳血管造影検査等の専門性の高い検査・治療が行われており、医師をはじめとした医療チームで安全な検査、治療を提供しております。「内視鏡センター」では**消化器内視鏡技士資格をもつ看護師**が4名おり、内視鏡検査・治療における医師の介助と患者様の看護において、専門性を発揮しています。

外来は、病院の「顔」であるといわれています。これからも、地域の皆様に「新緑があれば安心だ」と思っただけのように、努めてまいります。



病院機能評価【機能種別版評価項目 3rdG: Ver.1.1】に認定

病院機能評価とは、公益財団法人 日本医療機能評価機構が病院の運営や診療体制などを詳細に調査し、中立的な立場で評価を行う制度であり、病院の現状を客観的に把握する目安となります。

当院は平成16年にVersion4.0の認定を受け、平成22年にVersion6.0への更新を認定されました。そして、昨年10月に新たな基準（3rdG: Ver.1.1）での更新審査を受審し、2月5日に認定を受けることができました。当院では、今後も地域のみならず信頼される病院を目指し、理念・基本方針に基づいた安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。



1月28日開催「消化器外科症例報告会」

地域における連携強化と医療の質の向上を目的に、当院で消化器外科症例報告会を開催しました。当日は、地域クリニックの医師7名、当院消化器センター医師5名、看護師12名が参加しました。

地域の先生方より当院にご紹介いただいた手術症例について、外来経過を含めてご報告させていただき、診断・治療について医師同士で検討することで、双方の理解と信頼を深めることができました。



平成28年 みんなの健康講座 主催：横浜新緑総合病院 ※参加費無料

平成28年3月19日(土) 講師 横浜新緑総合病院 整形外科 副部長 上野 岳暁 「膝関節(ひざかんせつ)・股関節(こかんせつ)の痛み! ~痛みの原因と治療について~」



高齢化社会を迎え、膝や股関節の痛みでお悩みの患者様が 増えています。投薬や注射、体重コントロールや筋力強化で痛みが楽になることも多いのですが、それでも痛みが楽にならなければ 人工関節置換術や骨切り術といった手術的治療も有効です。医療技術の進化により、手術後も早期から体を動かして、すぐに退院できる患者様も増えています。いつまでも、100歳になっても元気に歩ける秘訣を伝授します。体操のご紹介もありますので動きやすい服装でお越しください。

会場 十日市場地区センター 2階中会議室 (十日市場駅より徒歩5分) 時間 午後1時30分~2時30分
お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216 (直通) 045-984-2400 (代表)

4月16日(土) 講師 横浜新緑総合病院 婦人科《女性の総合診療科》部長 清河 薫
骨盤臓器脱(こつぱんそうきだつ) 「ひとりで悩んでいませんか? 子宮脱や性器脱」



当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/> QRコード→